

黄金山。ピンネタイオルシペ

黄金山ピンネタイオルシペ遠景
(浜益川より)



5月に報道されたように浜益区こがねやまの黄金山は、名寄市の九度山くどさんとともに国の名勝ピリカノカのひとつに指定されることが決まりました。

ピリカノカはアイヌ語で「美しい

形」の意味で、アイヌ民族の伝承、物語、信仰などに関連した景勝地のうち重要なものが指定されます。黄金山は富士山のような姿で「浜益富士」の名と比較的登りやすいことで多くの人に親しまれています。実は、この山はそれだけでなくアイヌ語名「ピンネタイオルシペ」といい、浜益川流域アイヌのコタン(村)を守る山、そして英雄ユカラの主人公ポイヤウンペのチャシ(砦)があり、彼の本拠地という伝説をもっています。ユカラはご承知のとおりアイヌ文化のなかでもひととき有名な韻文いんぶんで語られる長編詩で、ポイヤウンペはその主人公の名前です。

金田三京助採集の「虎杖丸の曲」いたしりまる

によるとポイヤウンペは、親はなく、兄たちの手で高杯たかつきを立てたような美しい形の山の中のチャシで育てられたと謡われています。そして成長し、黄金おうごんの甲冑かちゅうを身にまとい、妖刀クトネシリカを操って近隣、遠くは樺太の敵と激しく戦い、故郷に凱旋がいせんします。このユカラに登場す

る地名をみると、主人公ポイヤウンペのいた場所は石狩川の北にある「シヌタプカ」にある美しい山だと考えることができます。物語の筋からシヌタプカは浜益川流域、そして美しい山は黄金山がイメージされます。このような理由で、英雄ユカラから黄金山のポイヤウンペ伝説が生まれてきたと考えることができます。また、浜益区ではこのほかに愛冠岬あいかぶさみ、摺鉢山すりばちやま、毘砂別びさべつなどにポイヤウンペ伝説が残っており、英雄ユカラが発祥した地ではないかといわれています。

(石橋孝夫)



黄金山ピンネタイオルシペ近景
上) 東側より
下) 西側より

■文化財課・いしかり砂丘の風資料館

☎62-3711

✉bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp